

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2024 年 5 月 9 日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社 東邦
所 在 地	〒817-0012 長崎県対馬市厳原町日吉 308 番地
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 桐谷 孝芳
担 当 者 連 絡 先	電 話：0920-53-5633 （担当：営業部 比田勝 祐希）
	メール：hitakatsu@t-toho.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://sites.google.com/view/toho/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和44年に創業した総合建設業者であり、長崎県の港湾を中心として海上土木工事、浚渫工事の請負事業を実施している。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 ✓社会 ✓経済	社用車をアイドリングストップ機構装備車に順次入れ替える。	交通車両のアイドリングストップ機構装備率 【現状：60%】 【目標：80%】
✓環境 ✓社会 □経済	地域貢献活動に積極的に参加する。	愛護団体としてのボランティア清掃活動回数 【現状：3 回/年】 【目標：5 回/年】
✓環境 □社会 ✓経済	ツシマヤマネコ保護活動として、飛び出し注意喚起の看板設置や夜間運転時の徐行等の教育を各工事現場で行う。	道路工事及びこれに準ずる工事での実施率 【現状：100%】 【目標：100%】

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8							
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3					8							
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3												
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9						
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3					
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3					8							
11	環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる											11.6 12.4 12.5		14.1		

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
12	【エネルギー】 ・ 自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・ 各施設の毎月の使用電気を担当者が把握し、削減に努めている。 ・ 交通車両、工事車両、建設機械の使用燃料量を各担当者が把握し、アイドリングストップを励行して削減に努めている。 ・ 本社及び現場事務所の昼休みの消灯を励行している。							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・ 自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・ 会社所有の交通車両はアイドリングストップ機能を装備した車両へと順次入れ替えている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・ 有害化学物質を使用する場合はSDSを確認して適切な管理を行っている。 ・ 排出時には適切な処置を行った上で許可を取得した処理場に排出している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・ 海上工事において水産工学技士による環境影響調査、対策、及び評価。 ・ 作業船の事前点検及び油吸着マット常備による油流出防止を実施。 ・ 道路工事やそれに準ずる工事ではツシマヤマネコ保護として交通事故防止等に努めている。						6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・ 水道の使用量を把握し、従業員へ周知して節水を推進している。						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ ISO14001を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・ 自社ホームページで開示している。												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
21	製品・サービスの安全性	・工事現場の看板や標示に英語及び韓国語訳を併記している。 ・計画書や説明資料について、誰もが理解できるようにイラストや図示を活用することを推進している。			3.9									12.4					
22	品質保証	・ISO9001を取得している。 ・工事の施工管理において、長崎県または国交省の管理基準に則った適切な品質及び出来形管理を行い、引渡し前に社内検査を実施している。									9								
23	環境配慮	・騒音を削減した独自工法を開発・施工している。 ・植生を維持した工事に取り組んでいる。 ・仮設備等、工事中の油や異物の流出に配慮した施工を行っている。 ・工事資材や消耗品として環境に配慮された製品を積極的に使用している。						6						12	13	14	15		
24	社会課題解決	・働き方改革関連法についての対策としてDXの推進と求人イベントへの参加による増員に努めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	地域への配慮	・工事現場付近の地域住民等へのヒアリングを行って問題が発生していないか確認している。 ・必要に応じて地域貢献活動に展開している。				4					9		11	12		14	15		17
26	社会貢献活動	・長崎県が主催する「山地防災パトロール」「道守」に参加している。 ・「河川等愛護団体」としてボランティア清掃活動を行っている。				4							11			14	15		17
27	地域資源	・工事の使用材料には本社所在地である対馬島内生産品、次に県内生産品を優先的に使用している。								8	9		11	12	13				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	組織体制 【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・SDGsにおける自社の「重点的な取組」の公募、及び実施することを通じてSDGsの概要、理念が社内へ浸透するよう努めている。 ・経営理念及び経営目標を明文化して社内に掲示し、朝礼での唱和を行っている。								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・汚職、贈収賄、不正な競争に関与しない行動規範を社内で共有している。 ・不当要求防止に係る講習を定期的に受講している。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・担当者及び責任者を配置して体制をフロー図で整備し、社内に周知している。																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	・発注者、行政機関、地域住民との事前の協議と、工事期間中及び工事完了後のヒアリングや情報交換を行って自社活動の影響を把握し、適切に対応している。																16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・法令遵守の重要性について社内外での教育により従業員に啓発している。 ・各工事現場では法令や環境面のチェックシートを用いた上で計画立案し、安全、環境、品質面のリスクアセスメントを実施している。 ・現場/パトロールではチェックシートを用いて法令遵守に努めているか確認している。																16	
33	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・環境側面特定規定チェックリストを毎年作成し、企業活動による環境への影響評価を実施している。 ・各工事現場では環境対策及び交通事故対策についての計画立案を行った上で適切に管理している。																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・火災や災害を想定した避難訓練を行っており、対策品を常備している。 ・台風接近が予想される時、担当責任者が事前に保有施設等の養生計画を策定・指示する体制を整備している。 ・災害や事故に備えて事業継続計画を策定している。									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・後継者の育成に取り組んでいる。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】 ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。 ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。（空欄で結構です。） ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。 ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。 ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。 ・「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。
--

令和 7 年 6 月 9 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	長崎県対馬市厳原町日吉 308
名称：	(株)東邦
代表者：	桐谷孝芳
登録年月日：	令和 6 年 6 月 2 8 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	社用車をアイドリングストップ機構装備車に順次入れ替える。	交通車両のアイドリングストップ機構装備率 (80%)	交通車両の入れ替えが無かったため現状維持 (60%)
✓環境 ✓社会 □経済	地域貢献活動に積極的に参加する。	愛護団体としてのボランティア清掃活動回数 (5 回/年)	令和 6 年度はボランティア清掃活動を 5 回実施。
✓環境 □社会 ✓経済	ツシマヤマネコ保護活動として、飛び出し注意喚起の看板設置や夜間運転時の徐行等の教育を各工事現場で行う。	道路工事及びこれに準ずる工事での実施率 (100%)	道路工事及び準ずる工事において実施 (100%)